

# 3. 川崎宿再生への方針・テーマ

3つの方針と4つのテーマに基づいて進めます。

## 3つの方針

1. 身近なことから取り組もう
2. 楽しみながら進めよう
3. 市民パワーを活かそう

## 4つのテーマ

- ① 拠点づくり
- ② まちなみ整備
- ③ 文化の創出
- ④ 情報発信

## よみがえれ川崎宿

### 3-1. 方針 ~どのような考え方で進めるか~

#### 1. 身近なことから取り組もう

- ・ 身近な所、できることから、とにかく行動を起こしていく。
- ・ 最初から大きな成果や、大規模な整備実現を求めず、地道な取り組みによる小さな成果を積み重ねていく。
- ・ 目指す理想像・ビジョンを目標として共有しつつ、アクション(行動)計画をきちんと立て、市民、商店街、企業と行政が協働する身近な実践の機会をつくる。

#### 2. 楽しみながら進めよう

- ・ 活動は遊び心と余裕をもって、楽しみながら進める。使命感は大事だが、あまり負担とならないようにする。
- ・ 現代人の趣向に合わせた新しいイベントや楽しみ方のしくみを、積極的に提案・創出していく。
- ・ 歴史や伝統にこだわらず、現代に合わせたアレンジやイメージづくりを行い、新たな物語や文化の創出にも柔軟に挑戦していく。

#### 3. 市民パワーを活かそう

- ・ 商店街・寺社・学校・町会などの地元をはじめ、外部の歴史・街歩き愛好者や専門家、子どもから高齢者まで、みんなの力やアイデアを結集しながら進める。
- ・ 市民による自主的なまちづくり運営を目指す。将来的にはNPO組織の立ち上げも視野に入れる。
- ・ 多くの市民に、川崎宿の歴史や文化を知ってもらい、次代を担う子供たちに伝え、郷土愛を育てる。

## 3-2 テーマ ~どのようなプロジェクトを進めていくか~

### ① 拠点づくり

- ・ 街道筋に設置が予定されている拠点施設の機能の一つとして、川崎の歴史や文化に触れられる情報発信機能を設ける。
- ・ 同施設に、ガイド活動の拠点や、地域のサロン機能を設ける。
- ・ 地元商店街や企業などの協力や、各種補助金を活かし、簡易休憩所を設置し地元住民とのふれあい交流をはかる。

### ② まちなみ整備

- ・ 史跡散策のため、解説板やわかりやすく誘導する案内板やサインを整備する。
- ・ 既存の石碑や句碑を活用したコースの設定や、川崎ゆかりの人々の音楽を奏で、楽しく歩ける仕掛けをつくる。
- ・ 街道周辺を花々で飾り、統一の<sup>のぼり</sup>幟や<sup>のれん</sup>暖簾を掲げるなど、きれいで心地よく歩けるまちをつくる。

### ③ 文化の創出

- ・ 世代や性別、関心分野を問わず、様々な人が訪れ、楽しめる文化を創出する。
- ・ 川崎宿にゆかりのある人物や寺社をアピールし、訪れた人々にその魅力が伝わる演出ができる仕組みを創出する。
- ・ 多様な世代が楽しめる様々なお祭りやイベントを開催する。
- ・ 現代に合わせた楽しみ方や新しい「川崎らしさ」を創出していく。

### ④ 情報発信

- ・ 川崎の文化や歴史、楽しみ方の情報を内外に積極的に発信する。
- ・ ホームページ、イメージキャラクター、名産品の開発、駅前広報・案内・宣伝、遊びマップの作成など、様々な媒体や方法を用い、多角的な情報発信を行う。